

第1回

身延町総合計画策定町民ワークショップ開催報告書

第1回開催報告

1 開催概要

開催日時：2025年8月29日（金）

開催場所：身延町役場

参加者数：28人

2 第1回の位置づけ

テーマ：「10年後を見据えた身延町の魅力・課題を共有する」

目的：課題の洗い出し。町の「変わらない魅力」と「変えていきたい課題」を住民同士で共有し、今後協議する分野テーマを決め、分科会を設定し、第2回以降の未来像検討の基盤をつくる。

3 実施内容（第1回の流れ）

3.1 総合計画の説明

3.2 町の現状（人口動態、財政、産業、観光などのデータより）

3.3 総合計画とは何か、ロジックモデルの活用意義等

4 グループワーク

4.1 個人ワーク：10年後に「変わらないでほしいもの・こと」「変わっていてほしいもの・こと（困っていること）」を付箋に記入

4.2 グループ討議：模造紙に貼り出し、カテゴリー分け・タイトル付け

4.3 投票：各班の意見を見て共感するものにシール投票

5.1 10年後も変わらないでいてほしいもの・こと

① 出現頻度順

[illegible]

2

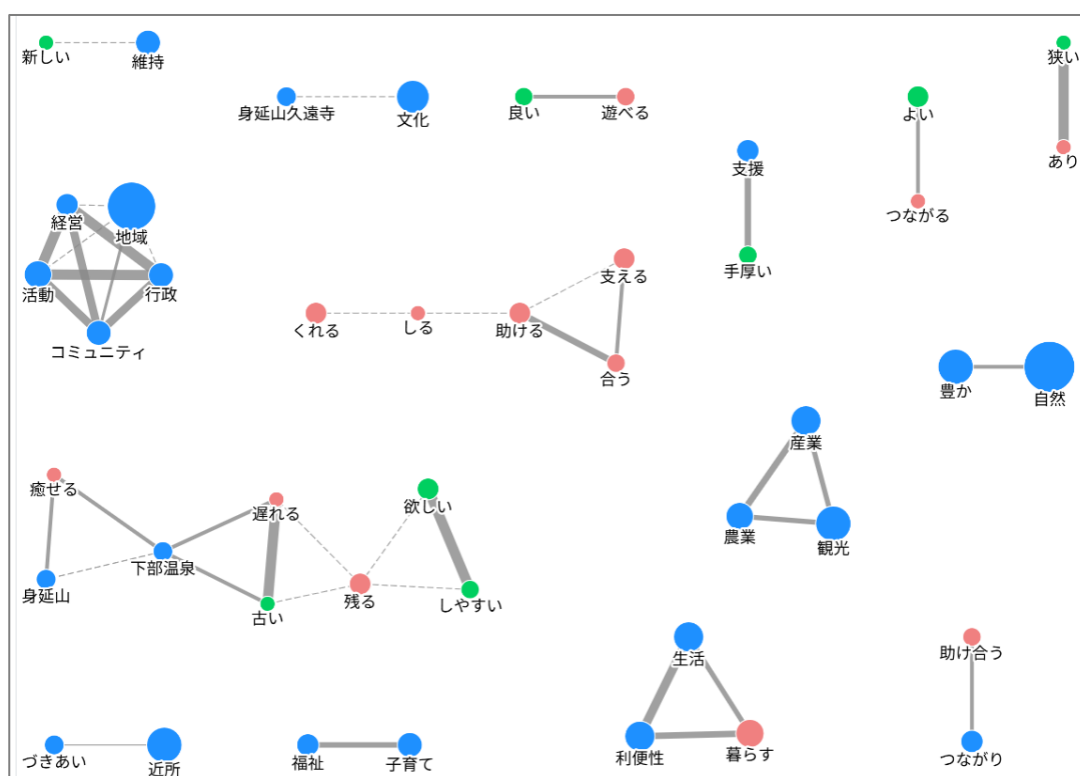
② 共起キーワード²

コミュニティを核として、その活動の経営や、行政との連携・役割分担について結びついている。

身延山久遠寺という具体的な地域資源と文化が関連付いている。また、「良い」「遊べる」というポジティブな言葉と繋がっていることから、身延山久遠寺の文化的価値が観光やレジャーの面でも評価されている。

産業として農業と観光が強く共起しており、地域の産業振興において、この二つの分野が柱となっている、または連携の可能性が議論されていることを示している。

身延山と下部温泉という具体的な地名や資源があり、「癒せる(癒すことのできる)」というポジティブな要素と結びついている。一方で、これらが「遅れる」「古い」といった課題や時間的な懸念を持つ言葉や、「残る」という維持・継承に関わる言葉とも繋がっており、これは、魅力的な資源(温泉など)を持ちながらも、その維持や時代への対応、あるいは古さと新しさのバランスがテーマになっていることが示唆される。



² 一文(改行や「。」などで区切られた各文)の中に、単語のセットが同時に出現するという意味。共起回数は、一緒に出現した回数を指す。

③ 階層的クラスタリング³

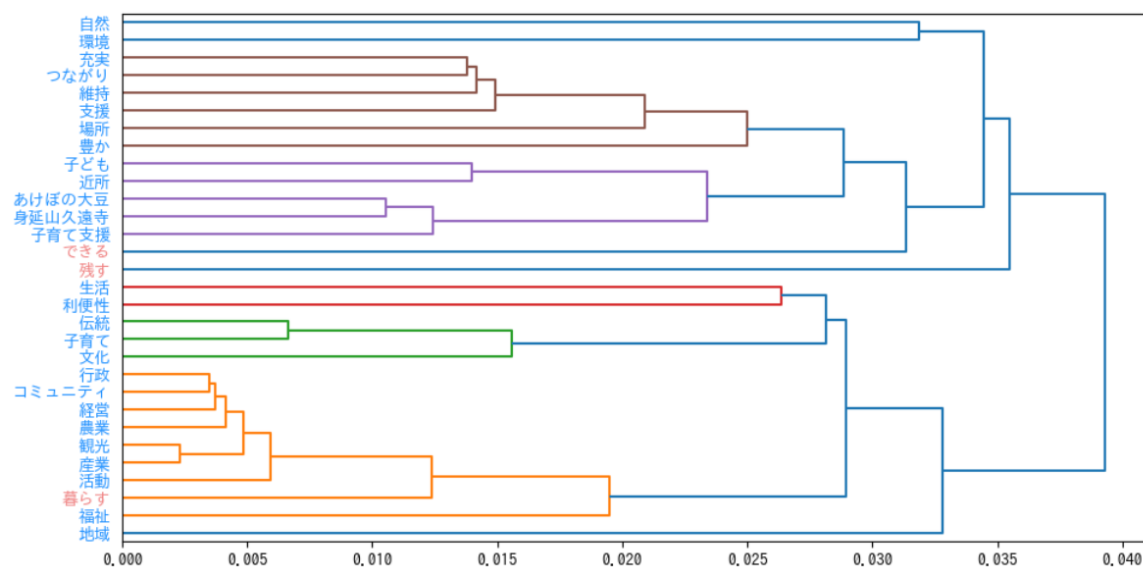
上部には、「自然」「環境」「場所」「豊か」「あけぼの大豆」「身延山久遠寺」「子ども」といった語が密接に結びついており、自然や環境の豊かさの中で育まれる特産品や、歴史ある仏閣、次代を担う子どもなど、身延町を象徴する価値を示す層を形成している。

中間上部には、「子ども」「近所」「あけぼの大豆」「身延山久遠寺」が強く結びついており、地域の特産品や伝統・文化の中で子育てができる、地域全体による教育・育成環境を示している。

中間下部は、「生活」と「利便性」のペアと、「伝統」「子育て」「文化」の結びつきが強く見られ、「便利な暮らし」と「文化・伝統の継承」を同時に実現したいという住民意識がうかがえる。

下部には、「行政」「コミュニティ」「経営」「農業」「観光」「福祉」「地域」などの語がまとまり、人々の生活基盤を支える層を形成している。ここでは、福祉や地域といった共助的な関係に加え、観光や農業など地域経済を支える営みも含まれており、「暮らしを守り、支え合いながら働く町」の姿が浮かび上がる。

全体として、上部は町の象徴的価値を、中央は暮らしの利便性と文化の継承が結びつく理想を、下部は行政や産業などが協働して地域を運営する実践的仕組みを示している。



ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

³ 文章中での出現傾向が似た単語をまとまりとしてとらえられるよう樹形図で表したものの。グループは色分けして表示されている。

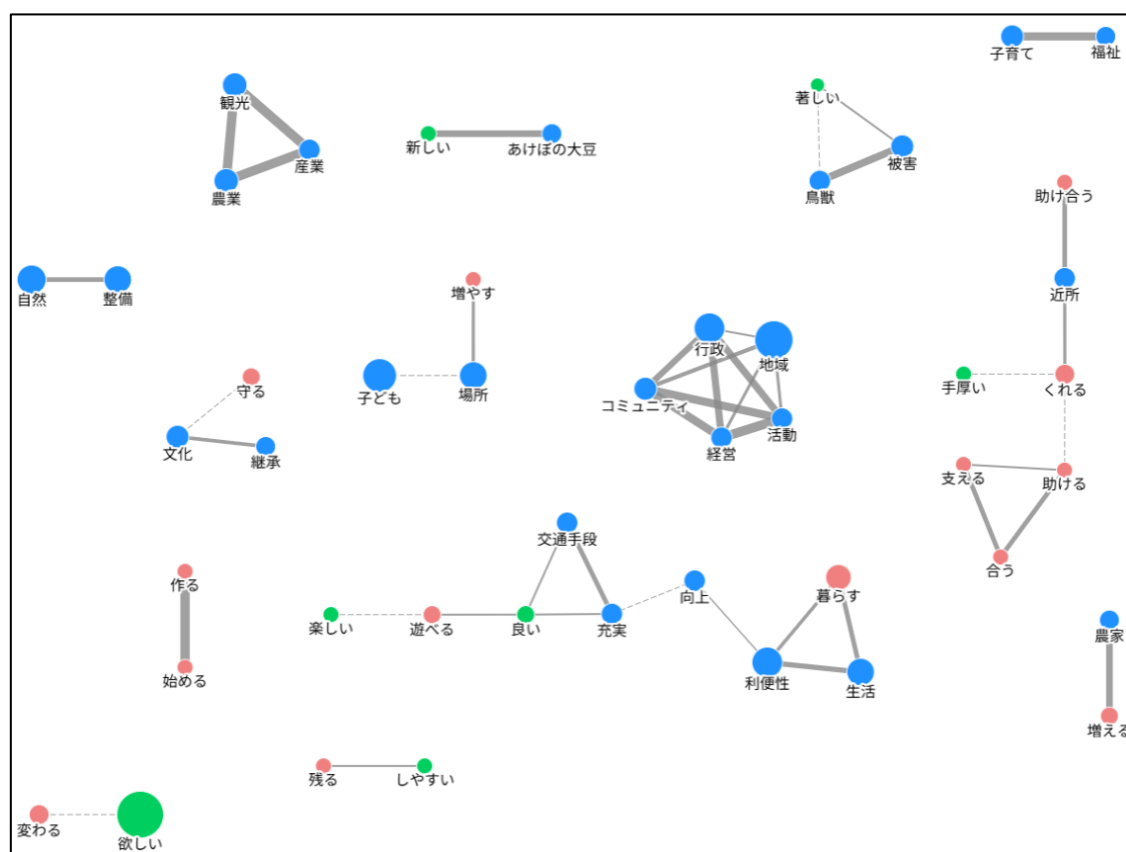
① 出現頻度順

② 共起キーワード

「地域」「行政」「経営」「活動」「コミュニティ」が強く結びつき、太い線で連っており、これは、町の運営や地域活動の担い手構造を示している。

「行政」と「地域」「活動」が直接結ばれていることから、町民の中で行政と地域が並列的な関係として意識されている。

「暮らす」「生活」「利便性」「向上」「充実」「交通手段」といった語が連なり、日常生活の利便性を中心にまとまりを形成している。



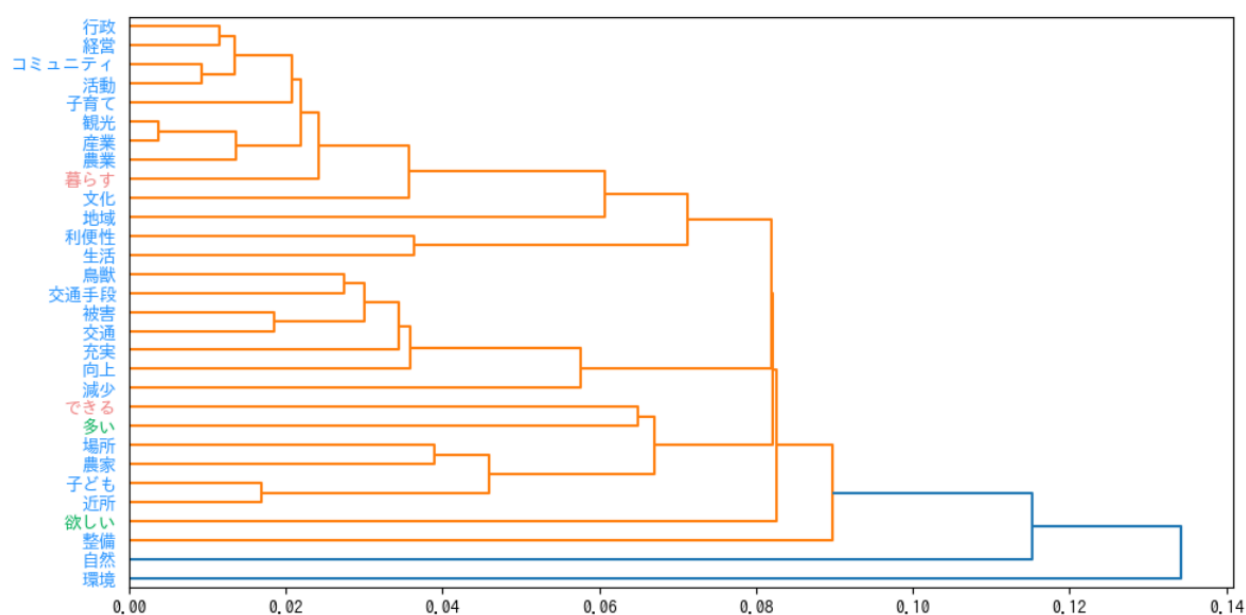
ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

③ 階層的クラスタリング

上部には、「行政」「経営」「コミュニティ」「活動」「子育て」「観光」「産業」「農業」といった語が密接に結びついており、まちを動かす仕組みや担い手の層を形成している。ここでは、行政や地域、事業者が一体となってまちを支え、地域経済や人のつながりを生み出している構造が見て取れる。すなわち、身延町の「仕組みとしてのまち」、つまり地域運営の核を担う層であり、行政主導ではなく、地域とともに動く協働の姿が示されている。

中間には、「暮らす」「文化」「地域」「利便性」「生活」「交通」「充実」といった語がまとまりをつくっている。これは、暮らしの実感や生活の質を表す層であり、日常生活の中で感じる快適さや豊かさ、地域の文化を重ね合わせながら生きる“身延町らしい暮らし”を象徴している。行政や地域活動による支えを受けながらも、そこに暮らす人々が「便利さ」と「品格」「落ち着き」を両立させようとする姿勢が読み取れる。すなわちこの層は、制度としてのまちと実際の生活を結び、暮らしをかたちづくる中核的な領域として機能している。

下部では、「自然」「環境」「整備」「場所」「欲しい」「できる」といった語が強く結びつき、生活の基盤や住民の願いを示す層を形成している。ここでは、自然環境の保全や基盤整備への期待とともに、「こうしたい」「できるようにしたい」といった主体的な意欲が見られる。福祉や支援の文脈とは少し異なり、“自分たちでまちを良くしていく”という意志の層として特徴づけられる。



6 意見のまとめ（各班）

ワークショップで出た意見は以下の通り。なお、全員で共有した際に共感が多く集まったものについては「★」印で示している。

1 班

10 年後も変わらないでいてほしいもの・こと		変わってほしいもの・こと（困っていること）	
自然・環境・文化・伝統			
自然 ・ 豊かな自然 ・ 利用できる自然、山・川 ・ 田舎ならではの自然や景観		文化の継承 ・ 文化の継承 ・ （文化の継承が今以上にきちんとできている状態に変わってほしい）	
伝統 ・ 地域の伝統、お祭り ・ 地域の伝統行事、祭り			
地域活動・コミュニティ・行政経営			
人のつながり ・ 人の温かさ ・ 町民の絆 ・ 支えたり支えられたりの人間関係 ・ 助け合う地域コミュニティ ・ ↓ ・ しかし、狭い人間関係が、若者にとって負担になっているという意見もあり。 ・ 良さと煩わしさの両面がある。 ・ それが、「ほどよい距離感」という意見につながっている。		生活の場としての魅力 ・ ほどよい距離感 意識改革 ・ 町民の意識【★】 ・ 多様性を受け入れる ・ 人間関係の問題解決、理解、あたたかさ ・ "みんなが同じ価値観"という考え方から、多様性を認め合うという意識改革 ・ →それがほどよい距離感にもつながる	
産業・農業・観光			
地域固有の資源 ・ 商店の数（これ以上なくならない） ・ 山の資源、農地の活用 ・ 下部温泉の街並み ・ 身延山久遠寺の仏教文化 ・ ↓ ・ しかし、下部温泉は古い建物が残っていなかったり、久遠寺も情報発信が遅れている等の指摘もあり		労働力 ・ 労働力不足、マンパワーの不足【★】 ・ 企業誘致【★】 ・ 観光客受入体制の充実	
		持続的な経済活動 ・ 自然環境との関わり方、利用促進、お金を生む事業【★】 ・ 地域商業を支え、共に生きていく考え方 ・ あけぼの大豆の生産性の向上	
		農業支援のあり方【★】	

	・ 販売農家と自給的農家の立場の違い
福祉・子育て	
地域での子育て ・ 地域で子どもを育てる環境 ・ 地域としての子育て	・ 子どもたちが楽しく遊べる環境 ・ 子どもの成長への援助 ・ 家で看取ることが出来る医療環境【★】
生活の利便性・暮らしやすさ	
なし	交通・買い物 ・ 地域交通、車がなくても生活できる環境【★】 ・ 買い物の利便性の向上 ・ 移動の利便性の向上【★】 ・ 交通手段の改善【★】 ・ 若者が定住できる環境【★】
その他	
なし	課題解決の優先順位 ・ 問題解決の程度を決める ・ 住民の理解

2 班

10 年後も変わらないでいてほしいもの・こと	変わってほしいもの・こと（困っていること）
自然・環境・文化・伝統	
文化の継承 ・ 文化の継承 ・ 伝統文化（祭り、イベント）	文化を守る ・ 文化を守ってほしい（この形になってほしい）
自然を残したい ・ 本栖ブルー ・ のどかなところ（自然豊か） ・ 自然 ・ 風景、景色 ・ 本栖湖、七面山等の豊かな自然	環境を守る ・ ゴミのない町（に変わってほしい）
地域活動・コミュニティ・行政経営	
住民同士のつながり ・ 近所づきあい ・ 地域住民のつながり ・ よい仲間 ・ 地域住民主体の地域活性化 ・ 治安・犯罪（の低さ）	人口減少 ・ 人口減少によるコミュニティ・組の解体 ・ 子どもの数 ・ 政策で生計が立てられること
産業・農業・観光	
豊かな農業 ・ あけぼの大豆、栽培できること ・ あけぼの大豆	担い手・働き手 ・ 農業の担い手 ・ 働き手 ・ 荒廃農地 ・ 和紙職人の数
豊かな観光資源【★】 ・ 和紙 ・ 温泉【★】 ・ 身延山 ・ ゆるキャン△アニメ文化	被害 ・ 獣害による作物被害 ・ 鳥獣被害（鹿…）
	観光の衰退 ・ 温泉“街”であること ・ 下部温泉のお客様
	二次交通 ・ 観光客の足
福祉・子育て	
医療・福祉体制の充実 ・ 医療体制の維持 ・ 高齢者（デイサービス、特養等）支援	教育の受け皿 ・ 歩いていける習い事 数が少なすぎる ・ 高校の特別な学科

子育て支援の充実 ・ 子育て支援 ・ 学校の数	
生活の利便性・暮らしやすさ	
サービス業の充実 ・ 飲食店の数	移住も含めた住宅対策 ・ ペット可の町営住宅
土地が広い ・ 家が近くない	・ 野良猫の数
公共交通機関の充実【★】 ・ 鉄道（身延線）	交通 ・ 公共交通 ・ 充実した道路網 ・ 老人の為の交通手段

3 班

10 年後も変わらないでいてほしいもの・こと	変わってほしいもの・こと（困っていること）
自然・環境・文化・伝統	
信仰文化の発展 ・ 信仰 ・ 文化 ・ 仏教が近くにある環境 ・ 七面山への登山文化 ・ 身延山を登山できる環境【★】	信仰者の減少 ・ 信仰する人の数が…
環境の保持 ・ 環境 ・ 緑・赤・青・黄色＝自然の色 ・ 季節が分かる環境	野生動物の被害【★】 ・ 野生動物の被害 ・ 獣害 ・ →自然災害の多発 ・ →山が荒れている ・ 鹿が多すぎる ・ 熊が怖い ・ 鹿 ・ 猿
地域活動・コミュニティ・行政経営	
バランスのよい人付き合いの維持 ・ 人と人のつながり ・ 程良い近所付き合い ・ 気軽にご近所づきあいできる ・ スポーツ活動が盛ん →職員の気質（町を知る人材）	人口減少 ・ 人口減少／少子高齢化社会 ・ そもそも子どもが少ない ・ 地域の人の数 ・ 学生の減少による学校の統廃合
	共に考える（行政と民間のまちづくり） ・ 行政と民間との距離感【★★】 ・ （支援してくれているが本当の希望と少しのずれがある。同じ方向を向きたい）
産業・農業・観光	
産業の維持 ・ 産業 ・ 飲食店の数	人 ・ 労働人口の減少 ・ 事業主の高齢化による廃業の進展 ↓ ・ 廃業の増加 ・ 従業員不足
伝統的な観光と新しい観光の維持 ・ 観光	店 ・ 地域商圈減少による需要・売上の減少

・ 若者が来町できる文化	・ 夜に酒を飲める場所！【★】
	スキルの継承 ・ イベント等のスキル継承 ・ シイタケ農家さんがいなくなる
福祉・子育て	
・ 子育て施策が充実している	担い手不足 ・ 若い人の流出 ・ 福祉事務所の働き手不足
生活の利便性・暮らしやすさ	
公共交通の維持 ・ 近くに駅や高速バス停がある ・ 公共交通網（JR、バス）	買い物の利便性 ・ 地域で完結できることが少ない ・ 買い物は町外が多い【★】 ・ 小売店の減少
	医療危機 ・ 病院（医療面） ・ 病院の存続
	移動手段がない ・ 飲んだ後のタクシー移動ができない ・ 車がないと移動が不便【★】
その他	
・ 価値観	

→これらがすべてつながった環境＝（自然+生活）が必要との意見

4 班

10 年後も変わらないでいてほしいもの・こと	変わってほしいもの・こと (困っていること)
自然・環境・文化・伝統	
歴史・伝統を残したい ・ 歴史・伝統 ・ 伝統的なお祭り（長塩の獅子舞） ・ 身延山久遠寺を中心とした信仰歴史・文化	鳥獣の被害を無くす【★】 ・ 鳥獣被害が著しく、植栽や農作物がたべられる。 ・ 鳥獣予防対策の徹底
豊かな自然を残したい（自然整備必須） ・ 豊かな自然 ・ 自然が多い	自然を整備する ・ 場所によって荒れ地が増えている
地域活動・コミュニティ・行政経営	
地域のコミュニティを残したい ・ 地域の行事 ・ 古くからの地域コミュニティが、地域の祭典等に根付いている。	行政施設の増加 ・ 幾つかの手続きは、富士川町までいかない とできない申請も多いため
近所の助け合い、横のつながりを残したい ・ 近所の助け合い ・ 近所の方がみんな顔を知っているので声をかけて（助けて）くれる。【★】	
産業・農業・観光	
農地保全対策の継続 ・ 農業経営の法人化による共同作業の拡大と農地保全	放棄地、遊休地の整備と活用 ・ 放棄地と遊休地は多くあり、整備活用が地方の活力になる ↓ ・ 特に農地については、耕作放棄地が増加している。単純に人がいないことが原因であるが、協働作業など色々考えている。
観光資源を残す ・ 身延山、下部温泉等の心と身体を癒せる観光 ・ 本栖湖キャンプ	
福祉・子育て	
子どもの支援の継続 ・ スポーツ活動 ・ 子どもへの手厚い支援 ・ 教育に関する各種無償化 ・ 子どもの医療費、修学旅行費の助成	医療が充実して欲しい ・ 医療の充実【★】 ・ 飯富病院の経営改善、黒字化

・ 学校スクールバスカメラ設置、治安向上	
子どもの遊ぶ場所を増やす ・ 子どもが楽しく参加できる地域行事（祭りや運動会等）の継続 ・ 無料もしくは低コストで子どもが遊べる場所が多い ・ 子どもが外で遊べる（大声出しても良く、球技をしても良い 等）	交通手段の充実（子育て関係） ・ JR 身延線の増線 ・ 交通手段の確保
小学校の存続 ・ 地域に残っている小学校の存続	子どもの習い事増加 ・ 子どもの習い事をする場所、指導者も増やす
その他 ・ 身延町では、比較的近所でも子どもを見ることができる ・ 町が色々手厚い支援をしている実感はある。	
生活の利便性・暮らしやすさ	
生活利便性の向上 ・ 地元商店の再興による利便性の向上	交通手段の充実 ・ のりあいタクシー、バス町内の移動がスムーズ ・ 公共交通の便の改善
	道の整備 ・ 村道でも、管理しきれていない道がある ・ →道の整備は、自然を整備すると通じることがあるが、放棄地や道路整備ができていない箇所もある。しょうがないと思う所もあるが、地域の魅力を上げるためには必要と思う。

5 班

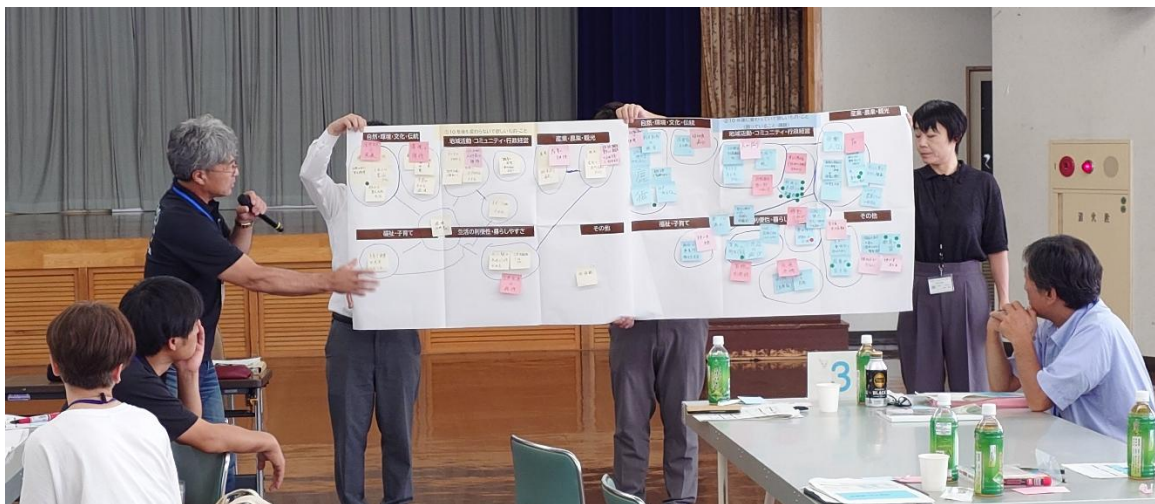
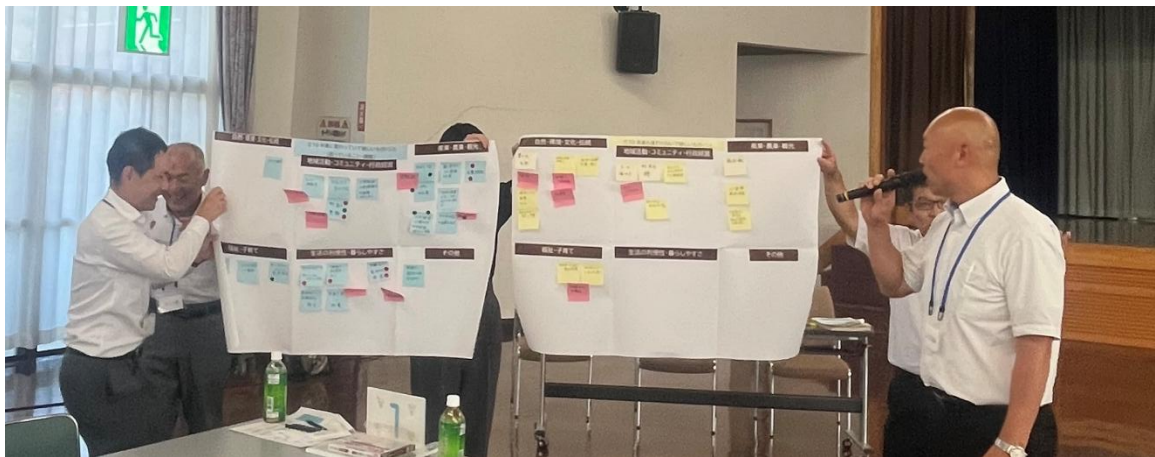
10 年後も変わらないでいてほしいもの・こと	変わってほしいもの・こと（困っていること）
自然・環境・文化・伝統	
自然が豊か ・ 自然遊びできる場所がある ・ 空気がきれい ・ 本栖湖からの富士山の風景『逆さ富士』 ・ 景観 ・ 緑が豊か	自然・環境整備【★】 ・ 荒廃・山林【★】 ・ 林道の活用
伝統 ・ 地域のお祭り	鳥獣害対策強化【★】 ・ 鳥獣害 ・ 獣害
	環境問題 ・ 温暖化（夏が長い） ・ 気象の安定（雨が欲しい）
	ゴミ問題 ・ 道路に捨てられる ・ ごみ捨て道路
地域活動・コミュニティ・行政経営	
人とのつながり ・ 助け支え合い ・ 近所づきあいがある ・ 特にママ友などのつくれる場所がある" ・ 顔が見える関係性	人材育成・確保 ・ 人材確保【★】 ・ ユニークな人がたくさんいて ・ 関わる人が多くなって欲しい（特に若者） ・ 若者が輝く場所 ・ 女性社長増
	意識改革 住民の意識【★】 郷土への誇り
行政 ・ 相談しやすい	行政の専門性（重要） ・ 行政の中の専門職【★★】 ・ 町を超えた協力体制（行政）【★】
産業・農業・観光	
ニューツーリズム ・ ゆるキャン△が続いてほしい	観光振興 ・ 身延山内と外 ・ 自然を使った遊び体験（事業として） ・ 泊まれる場所 ・ 資源の利用
観光 ・ 浩庵キャンプ場が人気 ・ 身延山久遠寺	

農業 ・ 軽トラがたくさん！ ・ あけぼの大豆の清算 ・ あけぼの大豆が人気	農業振興 ・ 20 代の農家出現 ・ 農家が増えてほしい ・ 南国フルーツを作り始めて欲しい【★】 ・ "あけぼの大豆の新しい生産方法 ・ ハウス" ・ 耕作放棄地減少
産業 ・ 起業しやすい環境が残って欲しい	景観整備 ・ 本栖湖の中ノ倉峠展望台の拡張整備
福祉・子育て	
子育て支援 ・ 子育て支援が多い ・ 教育が受けやすい ・ 子育ての補助金 ・ 子どもたちの元気な声	子どもの居場所 ・ スポーツ指導員の確保 ・ 子どもの夢への選択を増やせる環境
生活の利便性・暮らしやすさ	
生活の利便性 ・ 近所の食堂（食べる場所） ・ お店が開いている時間【★】 ・ 買い物ができる場所【★】	交通の便 ・ 国道 300 号の改修工事が進まない ・ 電車の本数 ・ 交通手段の利便性がよくなって欲しい ・ 三沢～市之瀬間バイパスの開通【★】
暮らしやすさ ・ のんびりした生活ができる ・ 人がいすぎない	暮らしやすさ ・ コンパクトシティ化へ ・ 働く場所 ・ 住める土地の候補がもっと必要 ・ 空き家の解消 ・ 医者・病院 ・ 人口増 ・ 若者の声をもっと聞いて欲しい
楽しみ余暇【★】	

	・ カフェがほしい 夜カフェも【★】 ・ 飲みに行けるお店 ・ 飲食店がもっとあるといい ・
その他	
・ 活用できる土地がある	

7 当日の様子の写真







8 分科会設定

各班の内容を基に6つの分科会を設定し、分科会メンバーを決定した。

8.1 分科会

- ① 自然・環境・文化・伝統
- ② 地域活動・コミュニティ・行政経営
- ③ 産業・農業・観光
- ④ 福祉
- ⑤ 生活の利便性・暮らしやすさ
- ⑥ 教育・子育て